

事業所名

すまいる飯山満

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

13 日

法人（事業所）理念	児童指導員や保育士が専門性を発揮し、利用児ひとりひとりに合わせて個別支援計画を作成。自宅、学校以外にも第二の居場所として利用し、安心して過ごすことができるような施設を目指す。		
支援方針	日々の活動やさまざまな行事、イベントを通じてコミュニケーションを取る機会を増やしていく。 職員やお友達と関わりを持ち、生活の中でのコミュニケーション能力の向上を目指す。レクリエーションを通して集団行動の大切さや楽しみを知る。		
営業時間	平日11時～20時 休日8時30分～17時30分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいや排泄などの声掛け ・学校へなかなか通うことができない児童への配慮・環境づくり ・外遊びに参加しながら体力作りも行い、そこから次の行動への切り替えの声掛けや支援 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の公園やグラウンドを使用し、ボール遊びや鬼ごっこをしたり、室内ではボルダリングや卓球、夏にはプールを行なう ・モニターやプリントを使ったレクリエーションを用意し、間違い探しやアハ体験などを実施 ・工作や実験体験なども取り入れ、指先の巧緻性の向上を図る 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックやタブレットを使用し、自由に創作遊びをする ・モニターを見ながらヨガやストレッチ体操をし、五感の刺激を促す ・ビジョントレーニング(見る力)を向上させる、迷路や数字探しのレクリエーションの取り入れ 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ボードゲームやタブレット、対戦ゲームなどを通じ、興味の幅を広げながらコミュニケーションを取る機会を増やす ・SST(ソーシャルスキルトレーニング)を学ぶレクリエーション活動を計画し、コミュニケーションの質の向上を目指す ・自分の気持ちや思いを、相手に伝えることが難しい場合はスタッフが代弁し、少しずつ自身で伝えることができるよう支援をする 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション活動やイベントなど、さまざまな活動を通じ、異年齢との関わりを持つ ・年齢やその時々課題を見据え、必要に応じたテーマで「すまいるプログラム」を実施 ・祝祭日や長期休みを利用し、外出イベントに参加しながら外部の人々と交流する機会を設ける 	
家族支援	・家族からの相談や悩みに対しての助言、アドバイス	移行支援	・就労移行支援における情報提供
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会に参加し、他事業所との情報共有 ・町内会活動に参加したりして、事業所への理解を深めてもらえるよう努力をしていく 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・法定研修(虐待防止、感染症予防) ・一定の期間ごとに外部研修へ参加 ・隔週でミーティングを行なう
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた行事 ・年1回の保護者会にて、すまいるの内情や報告などを行なう 		